



クラブ会長の計画および目標

2008-2009年度R I テーマ

「夢をかたちに (Make Dreams Real)」

李東建R I 会長は、この数年継続してきた「水、保健と飢餓、そして識字率の向上」を本年も引き継ぎその上で、この年度において、特に子供に焦点を当てて、世界の子供たちの「夢をかたちに」して欲しいと世界中のロータリアンに発信しました。

第2840地区ガバナー松倉紘洋氏は地区目標を

- ①ロータリーの心と原点を大切にしよう。
 - ②魅力あるクラブ創りに邁進しよう。
 - ③魅力あるロータリアンになろう。
 - ④R I 第3700地区（韓国大邱市）との研究グループ交換（G S E）を成功させよう。
- と、四つのターゲットを掲げておられます。

また、数値目標を①各クラブ会員増強目標：純増1名以上。

- ②ロータリー財団への寄付目標：1人100ドル以上。
- ③米山記念奨学会への寄付目標：1人15,000円以上。
- ④ポリオ・プラスのチャレンジ拠金：1名24ドル。

と設定しました。

私共高崎シンフォニーロータリークラブも李東建R I 会長、そして松倉紘洋ガバナーの素晴らしい指針を十分に理解し、充実したロータリー活動を実践し、その使命を全うすべく努力していきたいと思いますのでご協力の程を切に願います。

当然、昨年度より導入したC L Pを実施していくことになります。より高いレベルへとクラブを導いていく為にもすべての会員の参加が必要です。

具体的には、次の5つの常任委員会が中心となって展開していきます。

①会員増強

クラブが効果的に機能するためには、会員が必要です。

目標を実増2名以上とし、すべての会員に、新会員を推薦する責務をもっていただきます。

会員のニーズと満足度を満たし、会員同士の親密感を更に昂揚するような場を設けていきたい。

②奉仕プロジェクト

継続的社会奉仕活動として「児童養護施設のサッカー大会」、「駅周辺等の防犯パトロール」等を実施していきます。

新たにこども、青少年の健全な育成の為の活動を展開していきます。

③ 財団

ロータリー財団、米山記念奨学会の地区寄付目標を達成するための会員への協力要請。

それぞれの持つ必要性を会員がよく理解できるような例会プログラムの実施。

本年度より導入されたポリオ撲滅のための3年間チャレンジ拠金への全会員の協力。

④広報

地域社会においてロータリーの好ましいイメージを確実にする為にメディアを最大限利用すると共に、良い意味でメディアの関心を引くようなプロジェクト及び活動を実施する。

⑤クラブ管理運営

出席率の向上を目指し、S A Aと共に会員の関心を呼ぶような例会プログラムやクラブ協議会を立案していきます。

高崎シンフォニーロータリークラブ
会長 佐藤 忠